



12/20(火)「めぐみへの誓いー奪還ー」講演

北朝鮮による拉致事件を題材にした舞台劇「めぐみへの誓いー奪還ー」がてだこホールで公演されました。この舞台劇は劇団夜想会により2010年に初めて公演されて以来、今日まで拉致問題啓発のため全国各地で公演され、沖縄での公演は今回が初めてとなります。会場には約560人が集まり、鑑賞した人たちからは「感動した」「拉致は他人事じゃない」などの感想が寄せられ、拉致問題に対する理解とその被害者およびその家族の苦しみを考えさせられるきっかけとなりました。



1/16(月) 人権擁護委員委嘱状等交付式

人権擁護委員とは法務大臣から委託された、人権相談や人権の考えを普及する人たちのことです。今回は大城美保さん、棚原洋子さん、棚原利栄子さん、宮城むつみさん、西銘生弘さん(再任)の5人が委員として委嘱され、約6年委員をしていた塩川健三さんには感謝状の贈呈式が行われました。

委嘱を受けた棚原洋子さんは「皆さまからご指導を受けながら、そして地域に何ができるかということ問いながらやっていきたいです」と抱負を述べ、感謝状を受けた塩川健三さんからは「協議会に参加したりと、皆さんと過ごした6年3か月はとても有意義でした」と笑顔で話しました。



12/18(日) 浦添市全域でCGG運動

大人から子どもまで幅広い年齢層が清掃活動に参加し、大きな清掃になりました。出発式では西銘生弘さん(浦添市青少年健全育成市民会議会長)が、「子どもから大人まで汗を流し、地域をきれいにしていく事で地域力の向上につながると思います」と挨拶。

各地域ではポイ捨てされた空き缶をグループで楽しみながら拾う姿や、大人が草を刈り、刈った草を子どもたちが集める姿が見られ、連携した清掃活動により自治会館前には山積みの大量のごみ袋が集まりました。

清掃終了後には、それぞれの地域で餅つき大会やクリスマスパーティなどが催され、豚汁やカレーなどを食べながら交流を深めました。



1/10(火) 輝くてだこ市民賞第33号表彰式

「味心ゆうづき」を経営する知念司さんは昨年開催された第29回全国日本料理コンクールの郷土料理部門で最高賞を受賞。今回の受賞でこれまでの受賞と合わせると5つ目の賞を獲得したことになります。これまで最高賞5冠を達成した例はなく、その快挙を称える輝くてだこ市民賞表彰となりました。

知念さんは「3月に開かれる日本で一番大きな大会に出場し、最後の挑戦をします。結果を残し、以後は後進の育成に力を注ぎたい。これからも日々精進していきますのでよろしくお願いします」と力強く抱負を語り、市民賞受賞に笑顔を見せました。



1/5(木) 消防出初式および新年祝賀会

午前10時から消防本部で、消防出初式が行われました。「今年も市内の地域安全を守ります」と消防長の力強いあいさつで式が始まり賞状の授与や消防訓練実践演習が行われました。

午後3時には浦添市民体育館で、総勢1500人参加の新年祝賀会が行われました。会場で各企業の参加者たちは「今年もよろしくお願いします」と笑顔で握手。祝賀会のメインイベントである鏡開きでは市長をはじめ、来賓の皆さんの「よいしょ」という掛け声で、樽の蓋が勢いよく割られると、会場からは大きな拍手が湧き起こりました。



12/10(土)・第31回浦添市立中央公民館まつり 11(日) が開催されました。

会場には、2日間を通して約3000人が来場し、舞台では沖縄の芸能や合唱に演奏、子ども達のダンス等があり、展示では書や生け花、絵画に写真とプロ顔負けの作品が並びました。また、「料理で学ぶ韓国語」コーナーでは、韓国春雨チャプチェやチヂミ等の韓国料理を求める人々で大盛況でした。

来場者から「皆が笑顔で行動されていたので、自分も癒されました」「今年も各コーナーや販売等、活動の足跡が見られて大変勉強になりました」などの声があり、子どもから高齢者までが生涯学習活動を楽しめたまつりとなりました。

話題がいっぱい！
なかゆくい



12/7(水) 平成28年度浦添市民生委員・児童委員 委嘱状、感謝状伝達式

3年に1度の民生委員・児童委員の一斉改選が12月1日に行われ、それに伴ってだこホール市民交流室にて伝達式が行われました。13人の民生委員として活動した人に感謝状の付与、114人の新しく民生委員として活動していく人には委嘱状の付与が行われ、今後の福祉活動に期待を託されました。

感謝状・委嘱状交付の伝達を終え、社会福祉協議会会長の赤嶺義雄さんは「福祉ニーズが多様化してきている中、皆さんの活動は地域住民にとって最も身近な相談役となり、大きな期待が寄せられます。ご活躍を激励申し上げます」とあいさつし、大きな拍手が送られました。